

生田緑地マネージメント会議とは

生田緑地の目指す将来像を示す「生田緑地ビジョン」の実現に向け、多様な主体が管理運営参加する「協働のプラットフォーム」の具体的なしくみとして、「生田緑地マネージメント会議」が設置された。

全体会、運営会議及び自然環境保全管理会議の3つの常設会議と、必要に応じて立ち上げるプロジェクト会議によって構成されている。平成23年10月から合計8回の準備会が開催され、平成25年3月18日に設立総会が開催された。生田緑地の価値と魅力を高め、誰もが気持ちよく過ごすことができる公園とするように、自然の保全と利用の調整を図りながら、生田緑地を市民の財産として持続可能なものとしていくことを目的に活動している。

現在の会員の構成は、市民団体等15、地域団体・大学等18、行政・指定管理者等16の合計50の正会員と準会員1団体で構成されている。そのうちの30会員がコアメンバーとして、中心的な役割を担っている。（以上 川崎市ホームページより抜粋）

炉端の会はコアメンバーではないが、会議の正会員として行政や他の会員とともに運営会議で同じ円卓に座って話し合い、生田緑地の運営に参加している。市民と行政が互いの特性を発揮しながら、連携して課題解決に取り組むことによって、より大きな効果をもたらすことを目指している。

年4回程度の運営会議があり、平成27年度は第1回運営会議が4月24日におこなわれ、野田会長が参加している。



（編集委員 10期 土曜 水野）